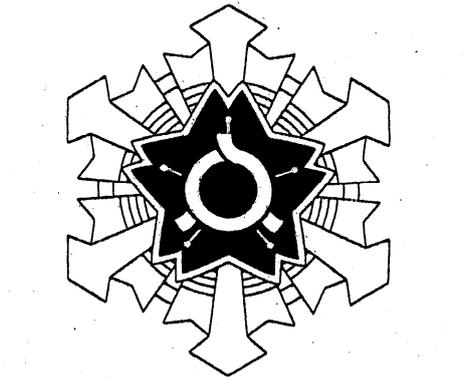


令和 3 年

教育訓練年報



福島県消防学校

目 次

I 消防学校の概要	1
1 消防学校の沿革	1
2 施設の概要	1
3 課程別教育訓練の経過	3
II 令和2年度 教育訓練の実績	4
1 消防職員入学状況	6
消防職員第82期初任教育入学時年齢及び学歴	6
2 消防団員入学状況	7
3 市町村別消防団員入学状況一覧（過去10年間）	9
4 消防団員校外教育実施状況	10
5 教科目・時間数・教官名	
(1) 消防職員初任教育	10
(2) 消防職員専科教育	12
(3) 消防職員幹部教育	18
(4) 消防職員特別教育	19
(5) 消防団員基礎教育	21
(6) 消防団員専科教育	21
(7) 消防団員幹部教育	22
(8) 消防団員特別教育	23
(9) 一般教育	23
6 使用教科書	24
7 成績優秀者表彰	
(1) 消防職員初任教育	25
(2) 消防職員専科教育救急科	25

I 消防学校の概要

1 消防学校の沿革

昭和23年自治体消防発足後、消防学校設立の必要性が唱えられつつあるとき、昭和27年消防組織法の一部が改正され、県として消防学校の設置が義務づけられ、消防職員及び消防団員に対する知識・技能の習得を行うための教育訓練を行う場として準備を進めるとともに、昭和28年第6回県下消防団長大会において「消防学校建設要望の件」が決議された。

県は、関係市町村及び各種団体の協力を得て、昭和30年8月21日福島市太平寺に消防学校を設立し、同年9月8日より教育訓練を開始した。

その後、庁舎の老朽化と、屋外訓練場の狭隘等から近代消防の教育訓練には適応困難となり、現在地に移転することに決定、昭和45年8月着工、昭和46年1月竣工、同年3月移転業務を完了し、同年4月より開校した。

その後、年数の経過に伴い消防学校の老朽化、狭隘化のため、改築整備事業を行うこととなり、隣接する民地を取得し、平成12年11月には第1期工事として管理・教育棟及び宿泊棟の工事に着工し、平成13年11月に竣工、平成14年3月には移転業務を完了し、同年4月より旧施設の約2倍の規模（宿泊定員120名）で一部開校した。

平成15年8月には、第2期工事である体育館・屋内訓練場及び水難救助訓練用プール・潜水槽の工事が完了した。

さらに、平成16年10月より最終となる第3期工事として、消防訓練棟（AFT）、車庫及び屋外訓練場の全面改築に着工、平成17年3月に完了し、消防学校は最新の施設・設備を備えることとなった。

また、国の「消防学校の教育訓練の基準」の全面改正を踏まえ、「福島県消防学校教育訓練規則」を一部改正し、本県消防教育訓練機関として、より高度な教育訓練を実施していくこととなった。

2 施設の概要

《所在地》 福島県福島市荒井字仲沢7番地

《面積》 敷地 44,635.43 m² 建物延床面積 9,487.24 m²

《建物》

管理・教育棟	鉄筋コンクリート2階建一部地階	1棟	延床面積	2,461.30m ²
宿泊棟	鉄筋コンクリート2階建	1棟	延床面積	3,123.20m ²
訓練塔（主塔）	鉄筋コンクリート8階建			
（消防訓練棟）	鉄筋コンクリート3階建	1棟	延床面積	計896.00m ²
訓練塔（補助塔）	鉄筋コンクリート6階建	1棟	延床面積	162.00m ²
屋内訓練場	鉄筋コンクリート2階建	1棟	延床面積	2,076.62m ²
水難救助訓練施設	鉄筋コンクリート平屋建	1棟	延床面積	148.60m ²
車庫棟	鉄骨平屋建	1棟	延床面積	487.52m ²
物品収納庫	プレハブ	1棟	延床面積	132.00m ²

《建物内部》

管理・教育棟	地階	車庫、男子職員シャワー室、女子職員シャワー室、休憩室、和室、便所
	1階	研究室、講師控室、校長室、職員室、書庫、見学ラウンジ、エントランス ホールパッサージュ、第1教室、第2教室、救急実習室、消毒室、資材倉庫、 屋内消火栓ポンプ室、消火実習室、自火報建築設備実習室、準備室兼薬品庫、 理化学実験室、
	2階	ホール、会議室、医務室兼休養室、前室、教養室、ラウンジ、視聴覚教室、 ビデオ編集室、ステージ、CAI教室
宿 泊 棟	1階	売店、談話室10帖間×3室、食堂136名収容、寮直室、舎監室・同和室、講 師宿泊室、男子浴室、男子ロッカー室、男子宿泊室11室（44人）、男子洗濯 室、男子屋外物干場、女子浴室、女子ロッカー室、女子洗濯室、中庭4
	2階	図書ラウンジ、男子洗濯室、男子宿泊室16室（64人）、女子宿泊室3室 （12人）、男子屋外物干場
屋内訓練場	1階	アリーナ、屋内訓練場、スタンバイスペース、登はん梯子、登はん訓練用 壁、クライミングウォール、放送室、ステージ、控室、避難物資倉庫、ポン ベ室、大倉庫、梯子訓練施設
	2階	渡過訓練施設、トレーニングスペース、ギャラリー、ホール
水難救助訓練施設		25メートルプール、潜水プール、男子脱衣室、女子脱衣室、男子シャワー 室、女子シャワー室、監視スペース、見学デッキ
消防訓練棟	1階	消火訓練室、燃焼実験室、濃煙熱気(迷路)室、EV、EVホール、便所
	2階	訓練ホール、EV、EVホール
	3階	訓練室(模擬マンション、模擬事務室)、EV、EVホール
車 庫 棟		車庫、宿泊実習室、車両点検ピット、便所、水防訓練用倉庫、ポンプ操法訓練用倉 庫、火災防御訓練用倉庫、整備工具室、少量危険物貯蔵所
物品収納庫		テント・消耗品等資器材倉庫

3 課程別教育訓練の経過

(令和3年3月末日)

教育種別		教育訓練の始期	開始以来の累計		
			回数	修了人員	
消防	初任教育	S31.10.11	82	3,967	
	専科	警防科	S47.8.17	27	768
		※無線通信課程	S40.12.6	7	170
		特殊災害科	H15.10.20	8	154
		予防査察科	H18.11.27	7	153
		※予防課程	S41.10.31	9	257
		危険物科	S35.10.19	16	395
	教育	※査察課程	S50.2.3	5	153
		火災調査科 ※注2	S31.10.3	28	707
		救急科	※救急科(I課程)	S39.10.4	34
※救急II課程			H4.1.16	21	1,060
救急科	H10.4.17	30	1,994		
救助科	S42.4.17	22	462		
幹部教育	初級幹部科	S42.10.25	36	908	
	中級幹部科	S59.10.15	30	708	
	上級幹部科	H17.7.20	6	43	
職員	新任消防長研修	H18.4.17	4	6	
	山岳救助科	H17.10.4	1	16	
	水難救助科	H17.7.4	2	20	
	※特別教育	S31.6.18	15	261	
	はしご車運用科	S61.10.22	18	306	
	ポンプ操法指導員科	H14.9.17	7	176	
	情報処理科	H14.7.24	3	41	
	林野火災対策科	H15.3.18	3	43	
	救急救命士養成補助教育科	H15.3.10	19	425	
	救急救命士卒後研修科	H14.11.18	6	79	
	消防弱者対応科	H15.2.3	4	35	
	救急救命士気管挿管講習	H16.2.16	5	188	
	救急救命士処置拡大講習	静脈路確保等	H28.7.11	12	277
		ビデオ喉頭鏡	H28.7.19	13	289
指揮隊長科	H25.2.5	9	268		
機関科	H29.4.24	3	86		
放射線基礎研修	H25.5.21	23	758		
消防団員	※普通教育	S31.12.17	41	1,058	
	基礎教育(基礎教育I・II修了者) ※注3	H29.6.11	7	208	
	専科教育	警防科 ※注2	S31.3.14	103	3,355
		※予防科	S53.3.6	3	72
		機関科	S30.9.8	83	2,042
	幹部教育	初級幹部科	S33.9.2	94	3,770
		※中級幹部科	S30.10.11	109	4,139
		指揮幹部科分団指揮課程	H26.10.11	16	650
		指揮幹部科現場指揮課程	H27.12.19	8	199
		上級幹部科	S30.11.15	15	327
特別教育	※特別教育	S50.1.28	6	215	
	訓練礼式指導員科	H14.9.11	12	229	
	ポンプ操法指導員科	H14.9.17	11	399	
	ラッパ吹奏科	S54.1.9	29	1,082	
	女性消防団員科	H14.6.27	5	43	
一日入校教育(随時)		4	144		
一般教育	自衛消防隊員教育	S36.10.16	75	2,643	
	※防火管理者教育	S41.9.20	5	88	
	女性防火クラブ員教育(随時)	S55.11.11	62	1,356	
	県・市町村消防防災担当者教育	H16.6.16	3	50	
	※市町村消防防災担当者教育	S36.1.12	14	332	
	少年消防クラブ員教育	H14.8.8	14	670	
	※地域防災リーダー教育		0	0	
	※応急手当教育(随時)		0	0	
知事の承認を受けて、校長が定める教育		0	0		
校外教育(消防団員)	S35.4.22	975	152,112		
その他		7	167		
合計		2,214	192,069		

注1: 塗りつぶしの科にあっては、廃止若しくは現在実施していない教育科目。

注2: 平成17年度教育再編に伴い経過見直しを行なったところ実施回数及び人員の変更が生じた。

注3: 基礎教育の回数は、基礎教育I・IIの修了者に交付した回数を計上している。

II 令和2年度 教育訓練実績

初任教育については、4月7日に入校、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により、4月21日から5月19日までの29日間の休校措置となったが、その後の授業カリキュラムの見直し等により、総時間数800単位時間を確保し必要な知識・技術を習得し、10月1日に72名が卒業した。

専科教育については、警防科、予防査察科、火災調査科、救助科を各1回実施、救急科にあつては、新型コロナウイルス感染対策として、座学部分を医療機関・消防学校・各消防本部のオンラインによる授業とし、後半の実技訓練を別々に行う変則二期制で実施したほか、幹部教育については初級幹部科及び中級幹部科を各1回実施した。

特別教育については、新型コロナウイルス感染拡大に伴いポンプ操法指導員科を中止としたが、日程の変更等により、救急救命士養成補助教育科、指揮隊長科を各1回、放射線基礎研修を3回実施した。

消防団員の教育については、新型コロナウイルス感染拡大により、寮内への宿泊を伴う感染リスクの軽減のため、2日間の教育についてはすべて1日開催とした。

基礎教育については、昨年度まで学校のみで実施していた基礎教育Ⅰを地域の実情に合わせて、各市町村等でも実施できることとし、基礎教育Ⅱについては、昨年引き続き消防本部協力のもと実施した。

幹部教育については、初級幹部科2回、指揮幹部科分団指揮課程を2回、現場指揮課程を1回実施した。

特別教育については、昨年度に引き続き訓練礼式指導員科及びブラス吹奏科を実施した。

校外教育については、県内6支部の計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2支部のみの実施となった。

一般の教育については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべてを中止とした。

その結果、令和2年度に教育を受けた修了学生数は、消防職員429名、消防団員441名であった。

消防職員の教育

教育種別(科名)	(期別)	(教育期間)	(教育日数)	(受講人員)
1 初任教育	(第82期)	2年4月7日～2年10月1日	178日間	72名
2 専科教育				
警防科	(第27期)	2年12月14日～2年12月25日	12日間	26名
予防査察科	(第7期)	2年11月13日～2年11月27日	15日間	26名
火災調査科	(第29期)	3年3月11日～3年3月26日	16日間	25名
救急科	(座学)	(第29期) 2年12月1日～2年12月22日	22日間	38名
	(実技)	3年1月6日～3年2月3日	29日間	
	(座学)	(第30期) 2年12月1日～2年12月22日	22日間	35名
	(実技)	3年2月4日～3年3月5日	30日間	
救助科	(第22期)	2年10月12日～2年11月13日	33日間	29名
3 幹部教育				
初級幹部科	(第36期)	2年11月30日～2年12月11日	12日間	21名
中級幹部科	(第30期)	3年1月20日～3年1月28日	9日間	25名
4 特別教育				
ポンプ操法指導員科	(第8期)	2年5月12日～2年5月20日	9日間	0名
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

教育種別 (科名)	(期 別)	(教育期間)	(教育日数)	(受講人員)
救急救命士養成補助教育科	(第19期)	2年10月 5日 ~ 2年10月 9日	5日間	23名
指揮隊長科	(第9期)	3年 3月 5日 ~ 3年 3月11日	7日間	28名
放射線基礎研修	(第21期)	2年10月 6日	1日	31名
	(第22期)	2年10月 7日	1日	26名
	(第23期)	2年10月 8日	1日	24名

消防団員の教育

教育種別 (科名)	(期 別)	(教育期間)	(教育日数)	(受講人員)
1 基礎教育				
基礎教育	(基礎教育 I・IIとも修了者)			32名
基礎教育 I	(第8期)	2年10月 4日	1日間	44名
基礎教育 II	2年度中実施 (所属13市町村、4泊消防本部実施)			97名
2 専科教育				
警防科	(第102期)	3年 3月13日	1日間	10名
機関科	(第83期)	3年 3月 6日	1日間	12名
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間短縮		
3 幹部教育				
初級幹部科	(第93期)	2年10月17日	1日間	16名
	(第94期)	2年10月24日	1日間	24名
指揮幹部科現場指揮課程	(第8期)	2年12月19日	1日間	39名
指揮幹部科分団指揮課程	(第15期)	2年11月21日	1日間	34名
	(第16期)	2年12月12日	1日間	41名
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間短縮		
4 特別教育				
訓練礼式指導員科	(第12期)	3年 3月 6日	1日間	27名
ラッパ吹奏科	(第29期)	2年11月28日	1日間	36名
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間短縮		
5 校外教育	県内2会場	9月 ~ 10月		170名

石川支部・二本松支部・会津坂下支部・いわき支部については、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

1 消防職員入学状況

教育種別	初任教育	専科教育						幹部教育		特別教育						合計
		警防科	予防査察科	火災調査科	救急科	救急科	救助科	初級幹部科	中級幹部科	導員科	ボンプ操法指	成補助救急士科	指揮隊長科	放射線基礎研		
消防本部	第82期	第27期	第7期	第29期	第29期	第30期	第22期	第36期	第30期	第8期	第19期	第9期	第21期	第22期	第23期	
福島	11	1	2	2	6	7	2	2	2	0	2	2	5	5	5	54
いわき	10	5	5	5	5	5	5	1	2	0	2	5	3	2	0	55
伊達	7	2	2	2	3	4	2	3	3	0	2	0	3	3	3	39
安達	5	2	2	2	2	2	2	1	1	0	2	2	1	0	0	24
郡山	10	4	2	2	6	4	5	2	3	0	1	3	1	1	1	45
須賀川	7	1	2	2	2	3	2	2	2	0	2	2	1	1	1	30
白河	4	2	2	3	2	0	3	3	3	0	2	3	4	4	4	39
喜多方	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0	2	1	3	0	0	12
会津若松	8	2	2	2	4	5	2	4	4	0	3	4	5	5	5	55
南会津	4	1	1	1	2	2	1	0	1	0	1	2	2	2	2	22
相馬	4	2	2	2	3	3	2	1	1	0	2	2	3	3	3	33
双葉	2	2	2	2	3	0	2	2	2	0	2	2	0	0	0	21
合計	72	26	26	25	38	35	29	21	25	0	23	28	31	26	24	429

第82期消防職員初任教育 入校時年齢及び学歴

1 年齢

年齢	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳		計	平均年齢
人数	15	13	11	8	14	9	2	0	0	0	0		72	20.4

2 学歴

学歴	高校	専門学校	大学	その他
人数	20	31	21	

2 消防団員入学状況

市町村名	基礎教育	専科教育				幹部教育				特別教育		計
	基礎教育 I・II修了	第102期 警防科	第83期 機関科	第93期 初級幹部科	第94期 初級幹部科	第8期 指揮幹部科 現場指揮課	第15期 指揮幹部科 分団指揮課	第16期 指揮幹部科 分団指揮課	第12期 訓練礼式 指導員科	第29期 ラッパ 吹奏科		
1 福島市		7	7	7		9		8	6		44	
2 会津若松市				1							1	
3 郡山市	5					7					12	
4 いわき市						6		7	7	3	23	
5 白河市							1				1	
6 須賀川市								7			7	
7 喜多方市											0	
8 相馬市	10							3	1		14	
9 二本松市							15			14	29	
10 田村市					4	4		5		4	17	
11 南相馬市	5	1	2					3	1		12	
12 伊達市				2	2		2				6	
13 本宮市							9		1	3	13	
14 桑折町					2	1	1		1		5	
15 国見町								3			3	
16 川俣町				4	3						7	
17 大玉村											0	
18 鏡石町											0	
19 天栄村											0	
20 南会津町				1			2		2		5	
21 下郷町									1		1	
22 檜枝岐村											0	
23 只見町											0	
24 北塩原村											0	
25 西会津町					2	1		1			4	
26 磐梯町									2	3	5	
27 猪苗代町											0	
28 会津坂下町						3	1			2	6	
29 湯川村											0	
30 柳津町	8					2		2			12	
31 会津美里町											0	
32 三島町							1				1	
33 金山町											0	
34 昭和村						1					1	
35 西郷村											0	
36 泉崎村											0	
37 中島村											0	
38 矢吹町											0	
39 棚倉町					6						6	
40 矢祭町					3	2		2	2		9	
41 塙町						3				5	8	
42 鮫川村										1	1	
43 石川町											0	
44 玉川村											0	
45 平田村					2		2				4	
46 浅川町											0	
47 古殿町											0	
48 三春町											0	
49 小野町											0	
50 広野町											0	
51 檜葉町											0	
52 富岡町		2	3						2		7	
53 川内村											0	
54 大熊町											0	
55 双葉町											0	
56 浪江町	4										4	
57 葛尾村				1					1		2	
58 新地町										1	1	
59 飯館村											0	
計	32	10	12	16	24	39	34	41	27	36	271	

2-2 消防団員入学状況（基礎教育）

市町村名	平成30年度			令和元年度			令和2年度			計		
	基礎教育 Ⅰ受講	基礎教育 Ⅱ受講	基礎教育 修了									
1 福島市										0	0	0
2 会津若松市				3	3	3				3	3	3
3 郡山市	10	9	9	8	5	5	9	5	5	27	19	19
4 いわき市										0	0	0
5 白河市										0	0	0
6 須賀川市										0	0	0
7 喜多方市	9	8	8	9	10	9				18	18	17
8 相馬市	20	15	14	22	26	23	9	16	10	51	57	47
9 二本松市										0	0	0
10 田村市										0	0	0
11 南相馬市	9	8	6	15	8	8	7	7	5	31	23	19
12 伊達市	13	6	13	13			3			29	6	13
13 本宮市										0	0	0
14 桑折町	2									2	0	0
15 国見町										0	0	0
16 川俣町										0	0	0
17 大玉村		1	1	7						7	1	1
18 鏡石町										0	0	0
19 天栄村										0	0	0
20 南会津町										0	0	0
21 下郷町										0	0	0
22 檜枝岐村										0	0	0
23 只見町										0	0	0
24 北塩原村	2	2	2	5	5	5				7	7	7
8 西会津町	9	18	9	1	1	1				10	19	10
26 磐梯町										0	0	0
27 猪苗代町										0	0	0
28 会津坂下町										0	0	0
29 湯川村										0	0	0
30 柳津町	7	5	5				9	8	8	16	13	13
31 会津美里町	3	11	3	8	22	6		25		11	58	9
32 三島町										0	0	0
33 金山町										0	0	0
34 昭和村										0	0	0
35 西郷村										0	0	0
36 泉崎村										0	0	0
37 中島村										0	0	0
38 矢吹町										0	0	0
39 棚倉町	6	2	2	3						9	2	2
40 矢祭町										0	0	0
41 塙町	7	6	6	2	3	3	7			16	9	9
42 鮫川村										0	0	0
43 石川町										0	0	0
44 玉川村										0	0	0
45 平田村										0	0	0
46 浅川町										0	0	0
47 古殿町										0	0	0
48 三春町										0	0	0
49 小野町										0	0	0
50 広野町								2		0	2	0
51 楡葉町					1			11		0	12	0
52 富岡町								6		0	6	0
53 川内村								1		0	1	0
54 大熊町					3			6		0	9	0
55 双葉町										0	0	0
56 浪江町	21		7		4	4		1	4	21	5	15
57 葛尾村								2		0	2	0
58 新地町	2	1	1		6			7		2	14	1
59 飯館村										0	0	0
計	120	92	86	96	97	67	44	97	32	260	286	185

3 市町村別消防団員入学状況一覧（過去10年間）

市町村名	年 度										合 計
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	
福島市	64	27	27	24	29	33	44	32	44	44	368
会津若松市	5	6	10	5	4	6	6	4	9	1	56
郡山市	15	14	16	11	12	16	15	22	5	12	138
いわき市	13	31	15	23	21	23	23	24	16	23	212
白河市	0	0	2	0	0	5	9	6	7	1	30
須賀川市	6	6	4	6	6	5	6	5	6	7	57
喜多方市	22	9	23	27	13	24	14	24	14	0	170
相馬市	0	3	4	1	0	3	2	17	25	14	69
二本松市	26	15	17	23	22	31	19	20	15	29	217
田村市	26	21	29	24	18	22	23	22	16	17	218
南相馬市	0	1	6	7	6	10	11	16	13	12	82
伊達市	11	9	18	14	28	10	14	24	7	6	141
本宮市	13	7	9	12	10	16	14	17	10	13	121
桑折町	6	4	6	6	6	6	7	6	5	5	57
国見町	4	2	1	2	3	2	3	1	3	3	24
川俣町	11	10	10	10	12	11	10	8	10	7	99
大玉村	7	12	19	11	11	12	19	11	10	0	112
鏡石町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津町	5	4	3	6	0	0	0	11	5	5	39
下郷町	2	3	6	1	0	3	3	2	0	1	21
檜枝岐村	3	3	1	0	3	2	2	0	4	0	18
只見町	0	0	3	0	0	2	4	1	4	0	14
北塩原村	6	5	5	2	3	7	5	4	7	0	44
西会津町	6	9	8	4	6	6	5	15	6	4	69
磐梯町	0	0	0	2	4	3	6	3	3	5	26
猪苗代町	3	0	3	4	5	5	3	3	1	0	27
会津坂下町	8	2	2	6	8	6	12	6	2	6	58
湯川村	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
柳津町	5	4	2	2	3	0	1	8	4	12	41
会津美里町	3	0	0	0	1	0	7	3	10	0	24
三島町	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4
金山町	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	5
昭和村	4	0	1	2	1	0	0	0	0	1	9
西郷村	0	0	2	0	2	2	7	5	0	0	18
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢吹町	2	2	2	3	2	3	2	0	0	0	16
棚倉町	3	3	3	8	2	6	0	2	6	6	39
矢祭町	0	2	4	6	6	8	12	15	7	9	69
塙町	3	2	5	2	9	5	15	9	6	8	64
鮫川村	7	5	6	5	7	4	5	3	5	1	48
石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	6	3	4	6	4	4	3	6	4	4	44
浅川町	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
古殿町	5	1	0	1	2	0	0	0	0	0	9
三春町	3	3	3	4	3	4	4	3	7	0	34
小野町	2	2	0	2	4	4	4	2	0	0	20
広野町	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
檜葉町	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	8
富岡町	0	2	0	2	4	2	2	5	5	7	29
川内村	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
大熊町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
双葉町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
浪江町	0	0	3	0	0	1	3	12	4	4	27
葛尾村	2	2	1	1	0	0	0	0	2	2	10
新地町	2	0	0	5	0	0	0	1	0	1	9
飯館村	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
合 計	310	237	287	281	286	316	352	380	311	271	3,031

4 消防団員校外教育実施状況

支部名	実施月日	課 程	実施場所	講 師	受講人数
石 川	7月12日	幹部教育	玉川村民グランド たまかわ文化体育館		中 止
二 本 松	9月6日	幹部教育	城山総合グラウンド 城山総合体育館		中 止
会津坂下	9月13日	幹部教育	柳津運動公園		中 止
伊 達	9月27日	幹部教育	国見町グリーンアリーナ 上野台総合運動場、体育館	鈴木課長・矢吹教官 関教官	60名
い わ き	10月11日	幹部教育	いわき市立平第二小学校		中 止
会津若松	10月18日	幹部教育	会津総合運動公園	鈴木課長・矢吹教官 歌川教官	110名
合計					170名

石川支部、二本松支部、会津坂下支部、いわき支部

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校外教育開講中止

【幹部教育】

受講対象者 幹部の消防団員

カリキュラム ①現場指揮(座学)

1時間(学校教官担当)

②訓練礼式(各個訓練・小隊訓練・通常点検の指導要領)

4時間(学校教官担当)

5 教科目・時間数・教官名

(1) 消防職員初任教育

① 第82期初任教育 2. 4. 7(火)～10. 1(木) 72名

教 科 目		時間数	教 官 ・ 講 師	
基 礎 教 育	倫 理	2	校 長	五十崎 誠一
	倫 理	2	南会津地方広域消防本部次長	高橋 稔雄
	講話(セクシャルハラスメント)	1	福島県男女共生課	先崎 博江
	法 学 基 礎	9	非 常 勤 講 師	八木 卓造
	消 防 法	10	"	堀内 和則
	消 防 組 織 制 度 (地方自治・地方財政)	4	"	八木 卓造
	消 防 組 織 制 度 (消 防)	5	外 部 講 師	菅野 信一
	服 務 と 勤 務 (接遇、文書管理含む)	15	非 常 勤 講 師	八木 卓造
	服 務 と 勤 務 (消 防 実 務)	6	教 務 主 任	坂上 義英
理 化 学	7	"	"	
小 計	61			
実 務 教 育	予 防 広 報	18	非 常 勤 講 師	堀内 和則
	危 険 物	8	教 務 主 任	坂上 義英
	消 防 用 設 備	12	非 常 勤 講 師	堀内 和則
	査 察	25	副 教 務 主 任	坪井 孝哲
	査 察 (現 場 査 察)			中 止
	建 築 (法 令 ・ 規 制 ・ 構 造)	10	非 常 勤 講 師	堀内 和則
安 全 管 理	14	副 教 務 主 任	関 貫 一 郎	

実務教育	特殊災害と保安	10	教 務 主 任	鈴木 央
	火災防ぎよ	30	外 部 講 師	菅野 信一
	火災調査	15	非 常 勤 講 師	堀内 和則
	防災(地震対策)	10	副 教 務 主 任	関貫 一郎
	防災(水災防ぎよ)	5	外 部 講 師	菅野 信一
	防災(災害対策)	8	福 島 地 方 気 象 台	大和田 淳
	防災(気象と災害)		”	遠藤 良弘
		”	泉 泰明	
救 急	50	教 務 主 任	小沼武義・歌川定儀	
消防機械・ポンプ	10	教 務 主 任	矢吹 将誠	
小 計	225			
実 科 訓 練	訓練礼式	47	教 務 課 長	鈴木 一弘
	消防活動訓練	80	専 門 教 務 主 任	越尾 吉美
	機器取扱訓練	47	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任	鈴木央・関貫一郎他
	救助訓練	48	”	”
			伊達地方消防本部	大橋洋一 他
			安達消防本部	松野和紀 他
	消防活動応用訓練	75	専 門 教 務 主 任	越尾 吉美
	” (救助)	16	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任	鈴木央・関貫一郎他
	” (夜間)	2	伊達地方・安達地方消防本部	大橋洋一・松野和紀他
	非常呼集訓練(課外)		専 門 教 務 主 任	越尾 吉美
		教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任	鈴木央・関貫一郎他	
体 育	32	”	”	
走力養成	4	外 部 講 師	櫻井 隆雄	
小 計	351			
選択研修	本部研修	21	各 所 属 消 防 本 部	
	特殊無線技士養成講習	7	(公財)日本無線協会東北支部 渡邊信男・星隆雄	
	休校中研修	100	(法学基礎・消防法 11) (消防組織制度 4) (服務と勤務 15) (理化学 6) (予防広報 9) (査察 8) (安全管理 8) (消防機械・ポンプ 5) (体力鍛錬 34)	
行 事 そ の 他	入学式・卒業式	2	学 校 教 官	
	環境整備(会場設営等)	12	”	
	オリエンテーション	5	”	
	卒業査閲	3	学校教官、伊達地方・安達地方消防本部	
	入学・卒業式準備	2	学 校 教 官	
	体力調査	8	副 教 務 主 任 ・ 教 務 主 任 他 関貫一郎・小沼武義他	
	日 課	19	学 校 教 官	
	日課(消防防災航空隊)			
小 計	179			
合 計	816			

(2) 消防職員専科教育

① 第27期警防科 2. 12. 14(月)～12. 25(金) 26名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
防災(災害対策法・国民保護法)	3	教 務 主 任 鈴 木 央
防 災 (水 防 法)	2	教 務 矢 吹 将 誠
警 防 対 策	1	教 務 主 任 鈴 木 央
”	4	消 防 大 学 校 清 水 忍
警 防 対 策 (震 災 対 策)	3	白 河 地 方 消 防 本 部 藤 田 浩 司
警防対策(水害・水防対策)	3	喜 多 方 地 方 消 防 本 部 大 金 進 輔
警防対策(緊急消防援助隊概要)	2	福 島 市 消 防 本 部 伊 藤 祥 典
消防戦術と安全管理(火災防ぎよ)	5	副 教 務 主 任 関 貫 一 郎
” (安 全 管 理)	3	教 務 矢 吹 将 誠
” (現 場 指 揮 I)	3	教 務 主 任 鈴 木 央
” (現 場 指 揮 II)	3	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 鈴 木 央 ・ 関 貫 一 郎
図上訓練(現場指揮・小隊指揮)	4	桜 ホ ー ス (株) 樋 山 勝 美
”	4	教 務 主 任 鈴 木 央
” (現 場 指 揮 ・ 部 隊 運 用)	4	副 教 務 主 任 ・ 教 務 関 貫 一 郎 ・ 矢 吹 将 誠
” (火 災 性 状)	2	”
実 技 訓 練 (小 隊 訓 練)	4	教 務 主 任 鈴 木 央
”	4	副 教 務 主 任 ・ 教 務 関 貫 一 郎 ・ 矢 吹 将 誠
実 技 訓 練 (中 隊 訓 練)	4	”
” (想 定 訓 練)	6	”
事 例 研 究	6	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 鈴 木 央 ・ 関 貫 一 郎
健康管理(惨事ストレス)	2	副 教 務 主 任 関 貫 一 郎
” (熱 中 症 対 策)	1	”
効果測定(警防対策)	1	教 務 主 任 鈴 木 央
” (消 防 戦 術 と 安 全 管 理)	1	副 教 務 主 任 関 貫 一 郎
行 事 ・ そ の 他	2	学 校 教 官
合 計	70	

② 第7期予防査察科 2. 11. 13(金)～11. 27(金) 26名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
予防査察行政の現状と課題	2	弁 護 士 小 野 寺 友 宏
消 防 同 意	6	非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
査 察	10	副 教 務 主 任 坪 井 孝 哲
”	2	消 防 保 安 課 矢 口 翔 太
”	2	” 影 山 雅 之
”	2	建 築 指 導 課 山 田 信 宏
”	3	(一 社) リ ー ガ ル パ ー ク 弁 護 士 今 井 秀 智
”	2	福 島 地 方 検 察 庁 検 事 石 田 雄 司
”	2	消 防 大 学 校 和 泉 義 晃

危険物規制	2	教 務 主 任	坂 上 義 英
”	2	消 防 保 安 課	桑 名 敏 生
”	3	危 険 物 保 安 技 術 協 会	芳 賀 沼 剛
違 反 処 理	2	消 防 大 学 校	和 泉 義 晃
”	4	い わ き 市 消 防 本 部	油 座 巧
”	8	伊 達 地 方 消 防 本 部	小 野 拓 洋
査 察 実 習	7	副 教 務 主 任 ・ 教 務 主 任	坪 井 孝 哲 ・ 坂 上 義 英
事 例 研 究	6	副 教 務 主 任	坪 井 孝 哲
効 果 測 定	2	”	”
行 事 ・ そ の 他	2	学 校 教 官	
合 計	70		

③ 第29期火災調査科 3.3.11(木)～3.26(金) 25名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
原 因 調 査 関 係 法 規	6	” ”
原 因 調 査 (基礎知識・内容・進め方)	4	教 務 主 任 坂 上 義 英
原 因 調 査 (実 験)	3	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 坂 上 義 英 ・ 坪 井 孝 哲 非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
原 因 調 査	2	ア サ ヒ 写 真 館 佐 藤 一 弘
”	4	消 防 大 学 校 消 防 研 究 セ ン タ ー 佐 藤 広 佳
原 因 調 査 (電気火災・燃焼機器他)	4	須 賀 川 地 方 消 防 本 部 澤 村 享 子
原 因 調 査 (放火火災・化学火災他)	4	” ”
原 因 調 査	2	(一 財) 東 北 電 気 保 安 協 会 栗 田 和 晃
”	3	独 立 行 政 法 人 製 品 評 価 技 術 菊 地 徹 基 盤 機 構 東 北 支 所
原 因 調 査 (発 表)	2	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 坂 上 義 英 ・ 坪 井 孝 哲 非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
鑑 定	3	福 島 県 警 察 本 部 刑 事 部 科 学 捜 査 研 究 所
損 害 調 査	6	非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
調 査 実 習	10	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 坂 上 義 英 ・ 坪 井 孝 哲 非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
調 査 書 類 (作 成 要 領)	4	教 務 主 任 坂 上 義 英
調 査 書 類	12	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 坂 上 義 英 ・ 坪 井 孝 哲
事 例 研 究	6	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 坂 上 義 英 ・ 坪 井 孝 哲 非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
効 果 確 認	2	教 務 主 任 坂 上 義 英
模 擬 裁 判	4	郡 山 地 方 消 防 本 部 畑 三 喜 男 他 7 名
行 事 ・ そ の 他	2	学 校 教 官
合 計	84	

④ 第29期救急科

学科: 2. 12. 1(火)~12. 22(火)

実技: 3. 1. 6(水)~2. 3(水) 38名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
救 急 医 学 概 論	2	教 務 主 任 小 沼 武 義
救 急 業 務 (沿革・救急活動の実際)	3	” ”
救急業務(救急活動の実際)	1	” 歌 川 定 儀
解 剖 生 理 (人体の構造・皮膚感覚系)	4	” ”
解剖生理(筋骨格系)	4	” ”
解剖生理(神経系)	4	” 小 沼 武 義
解剖生理(循環器系)	4	” ”
解剖生理(体液と血液)	3	” 歌 川 定 儀
解剖生理(泌尿器生殖器系)	3	” 小 沼 武 義
解剖生理(呼吸器系)	4	” 歌 川 定 儀
解剖生理(内分泌系)	3	” 小 沼 武 義
解剖生理(消化器系)	4	” 歌 川 定 儀
観察(バイタルサインの把握・ 全身所見と局所所見)	3	南 会 津 地 方 消 防 本 部 荒 井 武 夫
観察(心臓の動きと心電図波形、心電 図測定)	3	教 務 主 任 小 沼 武 義
観察(コトコフ音と血圧測定)	2	” 歌 川 定 儀
観察(呼吸音・心音の聴診方法と実際)	2	” ”
外傷病院前救護(JPTEC)	7	教 務 主 任 小沼武義・歌川定儀
意識障害病院前救護 (PCEC・PSLS)	6	会 津 中 央 病 院 山 村 英 治 教 務 主 任 小沼武義・歌川定儀
社会保障と福祉	2	非 常 勤 講 師 八 木 卓 造
病態別応急処置 (心肺機能停止BLS)	7	教 務 主 任 小沼武義・歌川定儀
病態別応急処置(環境障害)	3	い わ き 市 消 防 本 部 柴 野 明 紀
病態別応急処置 (一般外傷・総論)	3	教 務 主 任 歌 川 定 儀
病態別応急処置(出血)	3	” 小 沼 武 義
病態別応急処置 (異物(気道・食道))	3	福 島 市 消 防 本 部 本 間 直 樹
病態別応急処置 (四肢の外傷)	3	福 島 県 立 医 科 大 学 整 形 外 科 学 講 座 小 林 一 貴
病態別応急処置(頭部外傷)	4	” 脳神経外科学講座 菊 田 春 彦
病態別応急処置(体幹の外傷・胸部 ・腹部・骨盤外傷の応急処置)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 救 急 医 療 学 講 座 反 町 光 太 朗
病態別応急処置(多発外傷)	4	” 救急医療学講座 鈴 木 剛
病態別応急処置(ショック・循環不全 定義・病態生理・判断と応急処置)	7	国 立 国 際 医 療 研 究 セ ン タ ー (附 属) 病 院 佐 藤 ル プ ナ
病態別応急処置 (熱傷・電撃傷)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 地 域 救 急 医 療 支 援 講 座 上 野 智 史
病態別応急処置(中毒)	3	” 地域救急医療支援講座 小 野 寺 誠
病態別応急処置(意識障害)	3	” 脳神経外科学講座 黒 澤 瑞 穂
特殊病態別応急処置 (産婦人科・周産期)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 産 科 婦 人 科 学 講 座 加 茂 矩 士
特殊病態別応急処置 (小児・新生児)	3	” 小 児 科 学 講 座 郷 勇 人
特殊病態別応急処置(精神障害)	4	” 神経精神医学講座 佐 藤 彩

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
特殊病態別応急処置 (多傷病者対応)	3	須賀川地方消防本部 佐久間達也
特殊病態別応急処置(高齢者)	2	教 務 主 任 小 沼 武 義
特殊病態別応急処置(感染防御)	3	” 歌 川 定 儀
基本的救急活動	1	南会津地方消防本部 荒井武夫
観察と判断(環境・ 傷病者観察、バイタルサイン)	6	” 荒井武夫他3名
観察と判断 (全身・局所の観察)	7	” ”
一次救命処置(救急隊用)	5	” ”
CPRシミュレーション	8	” ”
特殊病態別応急処置 (産婦人科・周産期)	3	福島市消防本部 三ノ輪敬他3名
各種救急資器材取扱	6	” ”
搬送用資器材	3	” ”
創傷処置 (止血・固定処置含む)	4	” ”
体位管理	2	” ”
車内管理	2	” ”
応急処置(気道異物の除去)	4	” ”
応急処置(気道確保、酸素吸入)	3	” ”
多数傷病者対応と災害医療	7	須賀川地方消防本部 佐久間達也他3名
シミュレーション訓練の基礎	3	” ”
シミュレーション訓練の実際	4	” ”
病態別応急処置(内因性)	7	” ”
病態別応急処置(外因性)	7	” ”
シミュレーション実習(総合訓練)	14	いわき市消防本部 柴野明紀他3名
本部研修	12	各消防本部
プレテスト・修了試験	3	教 務 主 任 小 沼 武 義・歌 川 定 儀
事例研究・質疑応答	4	教 務 主 任 小 沼 武 義・歌 川 定 儀
効果測定	4	” ”
資器材整備	2	” ”
行事・その他	3	学 校 教 官
合 計	258	

⑤ 第30期救急科

学科: 2. 12. 1(火)~12. 22(火)

実技: 3. 2. 4(木)~3. 5(金) 35名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
救急医学概論	2	教 務 主 任 小 沼 武 義
救急業務 (沿革・救急活動の実際)	3	” ”
救急業務(救急活動の実際)	1	” 歌 川 定 儀
解剖生理 (人体の構造・皮膚感覚系)	4	” ”
解剖生理(筋骨格系)	4	” ”

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
解剖生理(神経系)	4	教 務 主 任 小 沼 武 義
解剖生理(循環器系)	4	” ”
解剖生理(体液と血液)	3	” 歌 川 定 儀
解剖生理(泌尿器生殖器系)	3	” 小 沼 武 義
解剖生理(呼吸器系)	4	” 歌 川 定 儀
解剖生理(内分泌系)	3	” 小 沼 武 義
解剖生理(消化器系)	4	” 歌 川 定 儀
観察(バイタルサインの把握・ 全身所見と局所所見)	3	南 会 津 地 方 消 防 本 部 荒 井 武 夫
観察(心臓の動きと心電図波形、心電 図測定)	3	教 務 主 任 小 沼 武 義
観察(コロトコフ音と血圧測定)	2	” 歌 川 定 儀
観察(呼吸音・心音の聴診方法と実際)	2	” ”
外傷病院前救護(JPTEC)	7	教 務 主 任 小 沼 武 義・歌 川 定 儀
意識障害病院前救護 (PCEC・PSLS)	6	会 津 中 央 病 院 山 村 英 治 教 務 主 任 小 沼 武 義・歌 川 定 儀
社会保障と福祉	2	非 常 勤 講 師 八 木 卓 造
病態別応急処置 (心肺機能停止BLS)	7	教 務 主 任 小 沼 武 義・歌 川 定 儀
病態別応急処置(環境障害)	3	い わ き 市 消 防 本 部 柴 野 明 紀
病態別応急処置 (一般外傷・総論)	3	教 務 主 任 歌 川 定 儀
病態別応急処置(出血)	3	” ” 小 沼 武 義
病態別応急処置 (異物(気道・食道))	3	福 島 市 消 防 本 部 本 間 直 樹
病態別応急処置 (四肢の外傷)	3	福 島 県 立 医 科 大 学 整 形 外 科 学 講 座 小 林 一 貴
病態別応急処置(頭部外傷)	4	” ” 脳神経外科学講座 菊 田 春 彦
病態別応急処置(体幹の外傷・胸部 ・腹部・骨盤外傷の応急処置)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 救 急 医 療 学 講 座 反 町 光 太 朗
病態別応急処置(多発外傷)	4	” ” 救急医療学講座 鈴 木 剛
病態別応急処置(ショック・循環不全 定義・病態生理・判断と応急処置)	7	国 立 国 際 医 療 研 究 セ ン タ ー (附 属) 病 院 佐 藤 ル プ ナ
病態別応急処置 (熱傷・電撃傷)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 地 域 救 急 医 療 支 援 講 座 上 野 智 史
病態別応急処置(中毒)	3	” ” 地域救急医療支援講座 小 野 寺 誠
病態別応急処置(意識障害)	3	” ” 脳神経外科学講座 黒 澤 瑞 穂
特殊病態別応急処置 (産婦人科・周産期)	4	福 島 県 立 医 科 大 学 産 科 婦 人 科 学 講 座 加 茂 矩 士
特殊病態別応急処置 (小児・新生児)	3	” ” 小児科学講座 郷 勇 人
特殊病態別応急処置(精神障害)	4	” ” 神経精神医学講座 佐 藤 彩
特殊病態別応急処置 (多傷病者対応)	3	須 賀 川 地 方 消 防 本 部 佐 久 間 達 也
特殊病態別応急処置(高齢者)	2	教 務 主 任 小 沼 武 義
特殊病態別応急処置(感染防御)	3	” ” 歌 川 定 儀
基本的救急活動	1	会 津 若 松 地 方 消 防 本 部 二 瓶 博 樹
観察と判断(環境・ 傷病者観察、バイタルサイン)	6	” ” 二 瓶 博 樹 他 3 名
観察と判断 (全身・局所の観察)	7	” ” ”
一次救命処置(救急隊用)	5	” ” ”
CPRシミュレーション	8	” ” ”

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
特殊病態別応急処置 (産婦人科・周産期)	3	安達地方消防本部 斎藤哲也他3名
各種救急資器材取扱	6	〃
搬送用資器材	3	〃
創傷処置 (止血・固定処置含む)	4	〃
体位管理	2	〃
車内管理	2	〃
応急処置(気道異物の除去)	4	〃
応急処置(気道確保、酸素吸入)	3	〃
多数傷病者対応と災害医療	7	白河地方消防本部 中野一樹他3名
シミュレーション訓練の基礎	3	〃
シミュレーション訓練の実際	4	〃
病態別応急処置(内因性)	7	〃
病態別応急処置(外因性)	7	〃
シミュレーション実習(総合訓練)	14	双葉地方消防本部 藤田大治他3名
本部研修	12	各消防本部
プレテスト・修了試験	3	教務主任 歌川定儀・小沼武義
事例研究・質疑応答	4	教務主任 歌川定儀・小沼武義
効果測定	4	〃
資器材整備	2	〃
行事・その他	3	学校教官
合 計	258	

⑥ 第22期救助科 2.10.12(月)～11.13(金) 29名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	
体育(体育理論・トレーニング法)	7	(株)タフ・ジャパン 鎌田修広
精神管理 (メンタルヘルスと惨事ストレス)	2	
安全管理	2	副教務主任・教務主任 関貫一郎・鈴木央
〃(救助員点検・留意事項等)	2	〃
〃(ガス対策)	3	福島県LPガス協会(太陽日酸株式会社) 石森秀彦
〃(ハイブリッド、 水素自動車対策)	3	福島トヨタ自動車(株) 杉本裕樹
〃(実戦的安全管理訓練)	7	副教務主任・教務主任 関貫一郎・鈴木央 専門教務主任 越尾吉美
〃(都市型救助座学)	7	越谷市消防本部 八幡勝
災害救助対策	2	教務主任 鈴木央
災害救助対策 (概要・緊急消防援助隊)	2	〃
〃(災害事例)	3	郡山地方消防本部 野々村孝司
〃(災害事例)	3	白河地方消防本部 小松一隆
〃(災害事例)	3	相馬地方消防本部 青田健
〃(鉄道事故対策)	7	東日本旅客鉄道(株)郡山総合車両センター 伊澤隆司他
〃(ヘリコプター)	2	消防防災航空隊 矢吹真之助

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
救急(多数傷病者対応要領)	7	教 務 主 任 小沼武義・歌川定儀
救助器具取扱訓練 (確保要領・緊急脱出)	2	副 教 務 主 任 ・ 教 務 主 任 関貫一郎・鈴木央 専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
救助器具取扱訓練 (高度救助資機材)	3	福 島 市 消 防 本 部 井 上 学 他 4 名
救助訓練(応急梯子救助)	4	副 教 務 主 任 ・ 教 務 主 任 関貫一郎・鈴木央
〃 (梯子水平救助)	4	〃 〃
〃 (はしごクレーン救助)	4	〃 〃
〃 (車両救助)	4	〃 〃
〃 (立て坑救助)	3	〃 〃
〃 (火災性状)	2	〃 〃
〃 (火災救助)	4	〃 〃
〃 (都市型救助)	7	越 谷 市 消 防 本 部 八 幡 勝
山岳救助訓練	28	喜 多 方 地 方 消 防 本 部 伊藤和司・小塩礼之 南 会 津 地 方 消 防 本 部 岩佐俊祐・弓田佳憲
総合訓練(劇毒物対応訓練)	6	福 島 市 消 防 本 部 鈴木勝博他5名
〃 (震災救助)	7	い わ き 市 消 防 本 部 岩倉一将他3名
〃 (想定訓練)	4	副 教 務 主 任 ・ 教 務 主 任 関貫一郎・鈴木央
〃 (救助想定)	7	〃 〃
〃 (火災想定)	7	〃 〃
効果測定(学生企画訓練)	3	〃 〃
〃 (学校長査閲・公開授業)	3	〃 〃
行事・その他	3	学 校 教 官
合 計	168	

(3) 消防職員幹部教育

① 第36期初級幹部科 2. 11. 30(月)~12. 11(金) 21名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	4	昭 和 女 子 大 学 山 崎 洋 史
訓 練 礼 式	2	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
消 防 時 事	1	非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
消 防 時 事 (警 防 行 政)	3	喜 多 方 地 方 消 防 本 部 大 金 進 輔
消 防 時 事 (予 防 行 政)	3	安 達 地 方 消 防 本 部 古 山 英 範
消 防 時 事 (救 急 行 政)	3	相 馬 地 方 消 防 本 部 林 貴 之
消 防 財 政	3	非 常 勤 講 師 八 木 卓 造
人 事 業 務 管 理	9	〃 〃
〃 (惨 事 ス ト レ ス)	3	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
安 全 管 理	6	副 教 務 主 任 関 貫 一 郎
現 場 指 揮	15	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 鈴木央・関貫一郎
事 例 研 究	15	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
行 事 ・ そ の 他	3	学 校 教 官
合 計	70	

② 第30期中級幹部科 3. 1. 20(水)～1. 28(木) 25名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
”	1	非 常 勤 講 師 堀 内 和 則
訓 練 礼 式	1	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
消 防 時 事 (消防行政の現状と課題)	4	須 賀 川 地 方 消 防 本 部 星 守 幸
消 防 財 政 (国と地方の関係・財政の仕組み)	2	非 常 勤 講 師 八 木 卓 造
人 事 業 務 管 理 (組 織 管 理)	2	” ”
人 事 業 務 管 理 (健 康 管 理 指 導)	2	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
人 事 業 務 管 理 (服 務 ・ 人 事 評 価)	3	非 常 勤 講 師 八 木 卓 造
人 事 業 務 管 理 (情 報 公 開 ・ 個 人 情 報 保 護)	3	” ”
安 全 管 理	4	副 教 務 主 任 関 貫 一 郎
現 場 指 揮	8	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 鈴 木 央 ・ 関 貫 一 郎
事 例 研 究	15	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
行 事 ・ そ の 他	3	学 校 教 官
合 計	49	

(4) 消防職員特別教育

① 第8期ポンプ操法指導員科 2. 5. 12(火)～5. 20(水) 0名 中止

② 第19期救急救命士養成補助教育科 2. 10. 5(月)～10. 9(金) 23名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	2	相 馬 地 方 消 防 本 部 佐 藤 勝 亮
解 剖 生 理 (概 論 ・ 基 礎)	3	郡 山 地 方 消 防 本 部 秋 元 瑞 穂
” (循 環 ・ 呼 吸 器 系)	4	喜 多 方 地 方 消 防 本 部 手 代 木 裕 司
” (脳 神 経 系)	2	伊 達 地 方 消 防 本 部 吾 妻 義 史
シミュレーション実習 (BLS・気道管理・静脈路確保・ブドウ糖投与)	11	郡 山 地 方 消 防 本 部 他 秋 元 瑞 穂 他 3 名
総合シミュレーション実習	8	” ”
解 剖 生 理 テ ス ト	1	教 務 主 任 歌 川 定 儀
行 事 ・ そ の 他	3	学 校 教 官
合 計	34	

③ 第9期指揮隊長科 3. 3. 5(金)～3. 11(木) 28名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
講 話	1	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
指 揮 理 論	4	郡 山 地 方 消 防 本 部 今 泉 欣 也
無 線 運 用 要 領	2	教 務 主 任 ・ 副 教 務 主 任 鈴 木 央 ・ 関 貫 一 郎
図 上 訓 練 (災 害 想 定)	5	教 務 主 任 主 任 鈴 木 央
現 場 指 揮 訓 練 (木 造 火 災 対 応)	4	副 教 務 主 任 ・ 教 務 関 貫 一 郎 ・ 矢 吹 将 誠
現 場 指 揮 訓 練 (耐 火 造 火 災 対 応)	4	教 務 主 任 主 任 鈴 木 央
現 場 指 揮 訓 練 (火 災 等 災 害 対 応)	5	副 教 務 主 任 ・ 教 務 関 貫 一 郎 ・ 矢 吹 将 誠
集 団 災 害 (土 砂 風 水 害 対 応)	2	福 島 県 警 察 本 部 警 備 部 災 害 対 策 課 佐 藤 克 寿
”	2	陸 上 自 衛 隊 福 島 駐 屯 地 東 條 剛
多 数 傷 病 者 対 応	4	安 達 地 方 消 防 本 部 長 谷 川 幸 一
資 機 材 整 備	2	学 校 教 官
行 事 ・ そ の 他	2	”
合 計	37	

④ 第21期放射線基礎教育 2. 10 . 6(火) 31名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
放 射 線 の 基 礎	1	双 葉 地 方 消 防 本 部 徳 安 根 田 藤 本 哲 也 寛 平
消 防 活 動 の 基 礎	1	” ”
消 防 活 動 の 留 意 点	1	” ”
消 防 活 動 訓 練	3	” ”
合 計	6	

⑤ 第22期放射線基礎教育 2. 10. 7(水) 26名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
放 射 線 の 基 礎	1	双 葉 地 方 消 防 本 部 徳 安 根 田 藤 本 哲 也 寛 平
消 防 活 動 の 基 礎	1	” ”
消 防 活 動 の 留 意 点	1	” ”
消 防 活 動 訓 練	3	” ”
合 計	6	

⑥ 第23期放射線基礎教育 2. 10. 8(木) 24名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
放 射 線 の 基 礎	1	双 葉 地 方 消 防 本 部 徳 安 根 田 藤 本 哲 也 寛 平
消 防 活 動 の 基 礎	1	” ”
消 防 活 動 の 留 意 点	1	” ”
消 防 活 動 訓 練	3	” ”
合 計	6	

(5) 消防団員基礎教育

基礎教育修了者（Ⅰ・Ⅱとも修了） 32名

① 第8期基礎教育Ⅰ 2.10.4(日) 44名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
組 織 制 度	2	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
火 災 防 ぎ よ	2	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
安 全 管 理	2	教 務 矢 吹 将 誠
行 事 ・ そ の 他	1	学 校 教 官
合 計	7	

② 基礎教育Ⅱ 2年度中 97名:12市町村(実施本部 郡山、会津若松、相馬、双葉)

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
訓 練 礼 式	2	各 消 防 本 部 各 担 当 者
ポ ン プ 操 法	2	〃 〃
救 急 救 助	2	〃 〃
行 事 ・ そ の 他	1	〃 〃
合 計	7	

* 基礎教育Ⅱ修了:教科目3種類(訓練礼式、ポンプ操法、救急救助)すべて修了者

(6) 消防団員専科教育

① 第102期警防科 3.3.13(土) 10名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
防 災	2	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
安 全 管 理	2	教 務 矢 吹 将 誠
火 災 防 ぎ よ	4	専 門 教 務 主 任 ・ 教 務 越 尾 吉 美 ・ 矢 吹 将 誠
事 例 研 究	1	専 門 教 務 主 任 越 尾 吉 美
合 計	9	

② 第83期機関科 3.3.6(土) 12名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
道 路 交 通 法 関 係	1	教 務 矢 吹 将 誠
緊 急 走 行 要 領	2	〃 〃
ポ ン プ 運 用	4	専 門 教 務 主 任 ・ 教 務 越 尾 吉 美 ・ 矢 吹 将 誠
機 関 整 備	2	〃 〃
合 計	9	

(7) 消防団員幹部教育

① 第93期初級幹部科 2. 10. 17(土) 16名

教科目	時間数	教官・講師
現場指揮	3	専門教務主任 越尾吉美
防災	2	教務 矢吹将誠
防災指導要領	2	専門教務主任 越尾吉美
安全管理	2	教務 矢吹将誠
合計	9	

② 第94期初級幹部科 2. 10. 24(土) 24名

教科目	時間数	教官・講師
現場指揮	3	専門教務主任 越尾吉美
防災	2	教務 矢吹将誠
防災指導要領	2	専門教務主任 越尾吉美
安全管理	2	教務 矢吹将誠
合計	9	

③ 第8期指揮幹部科現場指揮課程 2. 12. 19(土) 39名

教科目	時間数	教官・講師
講話	1	専門教務主任 越尾吉美
火災防ぎょ訓練	4	副教務主任・教務 関貫一郎・矢吹将誠
救助・救命訓練	4	” ”
合計	9	

④ 第15期指揮幹部科分団指揮課程 2. 11. 21(土) 34名

教科目	時間数	教官・講師
講話・組織制度	1	専門教務主任 越尾吉美
防災	3	教務 矢吹将誠
安全管理	1	” ”
災害対応図上訓練	2	専門教務主任 越尾吉美
事例研究	2	教務 矢吹将誠
合計	9	

⑤ 第16期指揮幹部科分団指揮課程 2. 12. 12(土) 41名

教科目	時間数	教官・講師
講話・組織制度	1	専門教務主任 越尾吉美
防災	3	教務 矢吹将誠
安全管理	1	” ”
災害対応図上訓練	2	専門教務主任 越尾吉美
事例研究	2	教務 矢吹将誠
合計	9	

(8) 消防団員特別教育

① 第12期訓練礼式指導員科 3.3.6(土) 27名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
訓 練 礼 式	3	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
部 隊 訓 練	6	〃 〃
合 計	9	

② 第29期ラッパ吹奏科 2.11.28(土) 36名

教 科 目	時間数	教 官 ・ 講 師
訓 練 礼 式	1	教 務 課 長 鈴 木 一 弘
音 楽 理 論	1	陸 上 自 衛 隊 福 島 駐 屯 地 高 野 金 雄
ラ ッ パ 吹 奏 実 技	7	〃 高 野 金 雄 他 7 名
合 計	9	

(9) 一般教育

- ① 第76期自衛消防隊員教育 中止
- ② 第77期自衛消防隊員教育 中止
- ③ 第15期少年消防クラブ員教育 中止

6 使用教科書

科別	図書名	発行所名	科別	図書名	発行所名	
初任教育	危険物	(一財)全国消防協会	救急科	救急隊員標準テキスト	へるす出版	
	消防理化学・実験	〃		J P T E C ガイドブック	〃	
	消防ポンプ	〃		P C E C コースガイドブック	〃	
	消防機械器具概論	〃		からだの地図帳	講談社	
	消防倫理・服務と勤務	〃	救助科	安全管理	東京法令出版(株)	
	火災調査	〃		救	(一財)全国消防協会	
	消防制度	〃		図解・消防救助技術の基本	近代消防社	
	火災防ぎよ	〃		消防救助操作の基準の解説	東京法令出版(株)	
	消防査察・消防設備	〃	初級幹部科	酸素欠乏症等の防止	中央労働災害防止協会	
	建築	〃		安全管理	東京法令出版(株)	
	法学基礎	〃		基本的消防戦術	火の丸防災	
	防災	〃		木造建物の特性を踏まえた消防活動の安全対策	全国消防長会	
	防火管理・消防広報	〃	中級幹部科	中小隊長の活動要領	東京法令出版(株)	
	救急	〃		安全管理	〃	
	安全管理	〃		中小隊長の活動要領	〃	
	特殊災害	〃		消防職員ポンプ操作指導員科	消防操法要領の解説	消防学校校友会
	救助	〃	消防団員警防科	詳解消防訓練礼式	〃	
	応急手当指導者標準テキスト	東京法令出版(株)		目で見てわかる消防ポンプ操法	東京法令出版(株)	
	応急手当講習テキスト	〃		指揮隊の活動要領	〃	
	消防関係法規集	〃		消防団員初級幹部指揮幹部訓練礼式指導員科	詳解消防訓練礼式	消防学校校友会
	手話教本(一般編)	聴覚障害者協会	消防団員機関科	ポンプ車運用技術	東京法令出版(株)	
	手話教本(防災編)	〃		詳解消防訓練礼式	消防学校校友会	
	詳解消防訓練礼式	消防学校校友会		消防団幹部実務必携	日本消防協会	
	福島県消防操法要領の解説	〃		詳解消防訓練礼式	消防学校校友会	
	目で見てわかる消防ポンプ操法	東京法令出版(株)	消防団員ポンプ操作指導員科	消防操法要領の解説	〃	
	特殊無線技師資格取得講習教本	〃		目で見てわかる消防ポンプ操法	東京法令出版(株)	
	安全管理	東京法令出版(株)		ラッパ吹奏科	ラッパ教本	消防学校校友会
	消火戦術ガイドブック	(Jレスキュー)		自衛消防隊員教育	高齢者福祉施設の夜間火災時の防火・訓練マニュアル	近代消防社
予防技術検定のための消防予防概論(第1巻 共通科目)	東京法令出版(株)	応急手当講習テキスト	東京法令出版(株)			
予防技術検定のための消防予防概論(第2巻 防火査察)	〃					
予防技術検定集中トレーニング	〃					
査察マスター	〃					
火災調査科	火災調査	(一財)全国消防協会				
	火災種別ごとに見る火災調査書類作成例	東京法令出版(株)				
	火災調査ポケット必携	〃				
	火災鑑識ポケット必携	〃				
	火災報告取扱要領の手引き	〃				

7 成績優秀者表彰

(1) 消防職員初任教育

第82期 2. 9. 30表彰

賞 名	受 賞 者		
	氏 名	所 属	年齢
福 島 県 知 事 賞	伊 藤 峻	会津若松地方消防本部	21
福 島 県 消 防 学 校 長 賞	上 石 溪	郡山地方消防本部	21
福 島 県 消 防 協 会 長 賞	芳 賀 樹 也	安達地方消防本部	23
福 島 県 消 防 長 会 長 賞	瀬 谷 悠 輔	須賀川地方消防本部	22
福 島 県 消 防 学 校 校 友 会 長 賞	星 篤 史	南会津地方消防本部	24
福島県消防学校教官連絡協議会長賞	丸 山 剛	いわき市消防本部	23
福 島 県 消 防 学 校 長 努 力 賞	伊 藤 大 貴	伊達地方消防本部	19
”	長 谷 川 順 哉	郡山地方消防本部	24
”	渡 邊 大 輝	福島市消防本部	22

(2) 消防職員専科教育救急科

第29期 3. 2. 3期表彰

賞 名	受 賞 者		
	氏 名	所 属	年齢
福 島 県 消 防 学 校 長 賞	三 瓶 悠 斗	安達地方消防本部	25
福 島 県 消 防 学 校 長 努 力 賞	木 村 圭 汰	会津若松地方消防本部	21
”	風 間 大 智	会津若松地方消防本部	21
実 技 訓 練 優 秀 賞	菅 野 桃 香	福島市消防本部	22
”	佐 藤 陸	伊達地方消防本部	19
”	橋 本 優 真	郡山地方消防本部	23

第30期 3. 3. 5表彰

賞 名	受 賞 者		
	氏 名	所 属	年齢
福 島 県 消 防 学 校 長 賞	薄 弘 志 郎	郡山地方消防本部	20
福 島 県 消 防 学 校 長 努 力 賞	森 口 愛 輝 斗	福島市消防本部	18
”	羽 柴 勇 樹	いわき市消防本部	28
実 技 訓 練 優 秀 賞	庄 司 結 貴	いわき市消防本部	24
”	渡 邊 大 輝	福島市消防本部	23
”	川 島 雅 楽	会津若松地方消防本部	20

案内図



Fukushima Fire Fighters School 福島県消防学校

〒 960-2156

福島県福島市荒井字仲沢 7 番地

電話 024-593-1251 (総務課)
593-1252 (教務課)

FAX 024-593-2990

E-mail syoubougakkou@pref.fukushima.lg.jp

又は fukushima_pref_fire@yahoo.co.jp

～ 交通案内 ～

車利用の場合

A地点からB地点 10km 約 15分

J R を利用する場合

J R 福島駅下車 バス又はタクシー (25分)

バスを利用する場合

福島交通

・土湯温泉行き (東口駅前 7 番ホーム)

峠の原 (駅から約 30分) 下車徒歩 10分